

平成21年度 第2回宝塚市立図書館協議会 会議録

1 開催日時及び場所

平成22年2月12日（金） 午前10時～12時

宝塚市立中央図書館 研修室

2 出席者

委員（9名） 黒田委員、松田委員、瀧川委員、織田委員、仲谷委員、
上野委員、三宅委員、安積委員、菌部委員

事務局（11名） 社会教育部長（鷹尾部長）
中央図書館（坂上館長、西田副館長、近藤係長、藤野係長、
西川係長、栗井）

西図書館（徳田館長、田野係長、花村係長、篠原係長）

3 傍聴者 1名

4 協議経過等

〔1〕開会あいさつ（教育長）

〔2〕議事

（1）平成21年度事業報告について

事務局より、添付資料も踏まえて、順次説明。

〔説明〕

① 教育委員会事務執行等評価表について（資料①参照）

- ・「事務執行評価」については、平成20年4月の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、教育委員会が、毎年、事務の管理及び執行の状況について、自己点検及び評価を行うことが義務付けられ、「外部評価委員会」（委員3名）が設置され、昨年度から実施されています。
- ・今年度の評価対象は、決算の処理が完了した「平成20年度事業」です。
- ・昨年度の評価で、「図書館については、正規職員を配置しているからこそできる取組みを期待したい。」との指摘を受け、様式1の④「施策の目指す状態」の欄に、「魅力ある蔵書の構築、ホームページの充実、既存の公共施設の利用、丁寧な対応と的確な情報提供、館内展示や行事などの企画、調査相談業務、障害者へのきめ細かいサービス、学校図書館への支援、子どもの読書活動推進計画の取組み」等を記入しています。

- ・成果指標として、いろんなサービス指標のうち、「市民1人あたりの貸出冊数」、「蔵書数」、「行事の開催回数」の3点をあげており、目標値として、各々について、8冊、56万冊、480回としています。
各々の目標に対する平成20年度の実績が、6,92冊、551,922冊、468回であり、全体の総合評価として、A評価（妥当）となっています。
- ・「子どもの読書活動推進計画」については策定しておりますが、今後、本市の図書館が目指すべき方向として、「基本方針」なり「目標」も必要ではないかと感じており、他市の事例等も研究していきたいと考えている。

② 図書館利用者アンケートについて（資料②参照）

- ・利用者アンケートについては、昨年度から実施しており、今年度は1月18日から1週間実施し、各図書館、分室、移動図書館ごとにアンケートを行いました。
- ・アンケート結果については、現在集計中であり、整理ができしだい、お知らせします。
- ・アンケート内容としては、昨年度とほぼ同様です。昨年度は、開館延長のアンケートについては、試行を行なった夏季に実施しましたが、今年度は開館延長の項目と合わせて実施しました。
- ・回収率は、中央図書館が44%、西図書館が27%となっています。西図書館の回収率が低かった点については、記載の場所として、カウンターしかなく、お持ち帰りいただいて記入し、来館時に提出してもらったことによるものと思われます。今後そのあたりの対応については検討したいと思います。
- ・今後の課題として、現在、図書館を利用されていない市民の意見の集約も必要ではないかと感じております。市民アンケート等、他市の事例等も研究していきたいと考えている。

③ 貸出し冊数及び人数について（資料③参照）

（貸出し冊数）

- ・貸出し冊数（平成22年1月末時点）は、全館合計1,432,323冊で、前年比1.9%の増となっています。
- ・月別に前年度と比較しますと、5月はインフルエンザ対策の関係で5/18～24の1週間、全館で閉館したことにより、前年比92.1%となっています。また、6月も各市内の学校園で学級閉鎖等の状況もあり、前年比96.9%となっています。
- ・西図書館について、8月が前年比98.8%、9月が対前年比98.1%となっていますが、原因としましては、8月は毎月1日の休館日が、昨年は金曜日であったのが、今年は土曜日であったことによる減です。また、9月は、曜日の関係で、開館日数が、

昨年は25日でしたが、今年は24日であったことによる減と分析しています。

- ・移動図書館について、5月の減（対前年77.4%）により、1月末までの合計で、対前年比0.6%の減となっています。

（貸出し人数）

- ・貸出し人数について、全館合計で、対前年比2.9%の増となっています。5月と6月は、やはりインフルエンザ関係の影響で減となっています。

④ 子どもの読書活動推進計画の執行状況について（資料④参照）

- ・リサイクル図書の優先配布については、市内の各施設等へ案内し、9月に西図書館で実施し、全体で1,979冊の児童書の配布を行ないました。さらに、11月には、西図書館と中央図書館の各々の児童書と一般書を合せて、中央図書館で配布を行ないました。
- ・子ども向けの行事としては、西図書館で、「わくわく理科あそび」、「おばけやしき大会」、「おたのしみ会」、「みんなであそぼ、ぷち&りとる」等を開催した。
- ・図書館ボランティア養成講座については、西図書館で、ボランティアグループの「おはなしぞうさん」が初級講座と中級講座を行なっている。西図書館でのおはなし会での活動から広がって、小学校・地域児童育成会などでも活動されている。
また、中央図書館でも、今年度から、絵本の読み聞かせボランティア養成講座を行っており、来年度も継続実施の予定です。
- ・市内の中学2年生を対象とした職場体験学習「トライやるウィーク」で、多くの生徒の受け入れを行なった。
- ・子どもへの読書推進広報活動としては、児童館行事への協力、新任教員研修への協力、小学校新1年生への図書館案内の配布、小学校の調べ学習用図書の団体貸出し等を行なっています。
- ・また、今後も、乳幼児向け絵本、児童向き推薦図書（「本はともだち」図書）、行事用大型絵本等の買い替え・新規購入を行ない、推進計画をより進めていきたい。

⑤ 開室時間の変更（11月以降）について（資料⑤参照）

- ・経緯としては、8月上旬に、中央図書館の利用者から、土曜・日曜・祝祭日の調査相談室の利用が午後5時までになっているのを、午後6時の閉館時間までにしてほしいという要望があり、調査相談室だけの検討ではなく、図書館全体の開室時間について検討した結果、11月から変更しました。
- ・検討の結果、利用者の利便を図るため、中央図書館においては、調査相談室、点字・録音資料室、集会室、研修室について、午前10時から午後5時までを、午前10時

から午後5時45分までとし、閲覧室について、現在、土曜・日曜・祝祭日の利用を、午前10時から午後5時としているが、午後5時45分までに延長しました。

また、西図書館においては、調査相談コーナー、集会室、対面朗読室について、現在、午前10時から午後5時までの開館時間を、午前10時から午後5時45分までに延長しました。

- ・なお、午後5時45分までの延長とし、午後6時より15分間早めているのは、閉館準備等のためです。
- ・開室時間の変更後の状況として、スムーズに対応できております。

⑥ 開館時間延長の試行結果について（資料⑥参照）

- ・今年度、6月～9月までの試行内容の確定分として、報告します。
延長した1時間の貸出者数を見ますと、中央図書館で、61.8人で、6時までの平均貸出者数の45.9%、西図書館で、48.3人で、6時までの平均貸出者数の44.9%となっており、確かに効果は確認できます。
- ・現在、延長試行に要する経費は、職員の超過勤務手当と光熱水費で約33万円であり、経費の点から見て、実施は可能であると思います。
- ・また、開館延長について、利用者の一定のニーズがあることは、アンケートの結果を見ても明らかです。（平成20年度の延長試行時のアンケートで、中央図書館・西図書館とも、延長を希望するが40%台である。）
- ・これまでの試行結果をふまえて、今後どうするのかという点ですが、利用者へのサービス向上のために、今後も実施していきたいと思いますが、いましばらく試行を継続したいと考えています。
- ・その理由としては、現在1時間の超過勤務で対応しているが、本格的に実施する場合、超過勤務ではなく、現在の人員の中で、ローテーション（時差勤務体制）の形をとる必要があり、その体制の試行が必要であるからです。
- ・阪神間の状況は、西宮市、尼崎市、伊丹市、川西市の4市が時間延長を実施しているが、平日の実施である。なお、猪名川町が、平成21年4月より、利用者が少なく、費用対効果の観点から、祝日以外の金曜日、午後8時までの開館延長を廃止している。
なお、芦屋市、三田市は実施していない。
- ・延長するに際して、どれだけの効果が期待できるのかという観点から、参考に、宝塚市内の阪急電車の駅（10駅）の乗降人員を見ると、平成20年度の統計で、宝塚、逆瀬川、仁川、小林、山本、中山、雲雀丘、宝塚南口、売布、清荒神の順であり、最も多いのが宝塚駅で、5万2千人余、西図書館の最寄駅の小林が、1万7千人余で4番目、中央図書館の最寄駅の清荒神が市内10駅の中で最も少なく、6千6百人余となっています。

⑦ 利用者の意見等について

- ・利用者の声に対して、真摯に受け止めていかなければならないと、常々考えております。また、利用者のご要望等については、施設面、予算面の制約もあり、実現できない部分もありますが、できるところから前向きに取り組んでいきたいと考えています。
- ・「広聴カード」や「御意見箱への意見」等に対する回答を見ていただいて、もっと効果的な対応等がありましたら、お教えいただけたらという思いもあります。

(ア) 広聴カード回答分について（資料⑦ー（ア）参照）

- ・市の「広聴制度」は以前から制度としてあり、広聴相談課を窓口として、市への質問・意見等を、名前や住所等を記入して、「広聴カード」で提出するものです。回答は質問に関連する各担当課が作成し、広聴相談課を通じて、質問等を提出した本人へ回答されます。
- ・平成21年度は、図書館に対しては全体で3件（宝塚市も図書館を増設してほしい。宝塚市立中央図書館の運営について。年末の30日まで図書館を開放してください。）の提出がありました。詳細は、回答をお読みください。
- ・若干補足しますと、1件目の、図書館の建設という要望については、他市と比較しても図書館数が少なく、現在2館1分室と移動図書館車の体制で、我々としても、図書館から距離のある長尾地区や安倉地区に設置ができればとの思いはありますが、厳しい財政状況下では、新たな公共施設の建設は困難な状況にあります。

(イ) 御意見箱の御意見への回答掲示分について（資料⑦ー（イ）参照）

- ・平成18年7月に、「広聴カード」より提出された、「館内に意見箱を設けて、来館者の細かい意見、希望を吸い上げ、サービス改善をはかるべきではないか。」という要望を受けて、平成18年8月頃より、図書館入り口に「御意見箱」を設けて対応しています。また、御意見箱の横には、市の広聴カードを置いています。
- ・御意見箱については、利用者のさまざまな意見を広くお聞きするという観点から、中央図書館では、「無記名」の取扱いとしています。一方、「無記名」であれば、無責任な意見が出されるという考え方もありますが、中央図書館では、無責任な意見等はほとんどありません。なお、平成20年度の取扱い件数は75件で、定期的に回答を掲示板に掲示しています。
- ・平成21年12月市議会の一般質問において、「公共施設に意見箱の設置について」の質問に対して、「設置の方向」での市長答弁があり、これを受けて、未設置の公共施設においても今後設置の方向であり、西図書館についても、検討中です。

- ・御意見の内容は、様々な意見・要望等があり、今年度は、31件の回答をしております。詳細については、資料をお読みください。
- ・また、実際、「本を読む場合のマナー」については、我々も問題意識を持っており、利用者からの御意見等も踏まえて、2階の集会室の前に、「図書館からのお願い」の掲示をして、本を読む場合の注意事項等（落書き、書き込み等に対する注意）を記入しております。
また、「一般的なマナー」については、財団法人 図書館振興財団の作成した啓発用の冊子を廊下の掲示コーナーで配布しています。

⑧ 情報提供について

(ア) 広報たからづか掲載分（資料⑧ー（1）参照）

- ・「広報たからづか」は、市から市民の皆様へのお知らせ等が中心になっています。そのうち、図書館に関連した掲載があるもの（6点）について、まとめております。詳細は資料をご覧ください。今後とも、図書館のPR等を積極的に行なっていきたいと考えています。
- ・7月号と、1月号については、「図書館の利用法」についてです。
- ・9月号は、「緑のカーテン」についての記事で、関連資料として、ヒョウタンとゴーヤを植えた西側の壁面の写真をつけています。また、写真はありませんが、東側、図書館の入り口横には、アサガオを植えました。5月末に、職員でプランターに植え、10月頃まで楽しめました。なお、費用については、環境政策課の方で約5万円の協力をいただきました。この事業は、省エネルギーの実践として有意義な事業であり、今後も、継続して実施していきたいと考えています。
- ・10月号は、「市長からの手紙」の中で図書館のことが取り上げられ、「人口20万人台の全国39市の中で、1人あたりの貸出し冊数が7番目」ということが書かれています。

(イ) 新聞記事等の関連記事について（資料⑧ー（2）参照）

- ・図書館に関連した記事等を、参考資料として以下の5点についてまとめております。西図書館の「福袋」の取組みについては、1月7日の毎日新聞で全国版の記事で掲載され話題となりました。5点の詳細については、資料をご覧ください。
- ・「新型インフルエンザ発生に伴う各自治体の対応」について。
(平成21年5月20日付け、朝日新聞)

- ・「土曜日の開館 1時間延長試行」について。
(平成21年6月6日付け、朝日新聞)
- ・「宝塚メディア図書館のオープン」について。
(ウイズたからづか、8月号)
- ・「子ども向けの本を詰め合わせた『福袋』(西図書館の取組み)」について。
(平成22年1月7日付け、毎日新聞)
(平成22年1月8日付け、産経新聞、朝日新聞)
- ・「国民読書年」関係について。
(平成22年1月11日付け、朝日新聞)(平成22年1月31日付け、読売新聞)

[委員からの主な質問・意見等及び事務局からの説明]

(委員)

- ・利用者アンケート調査の期間が1週間となっていますが、持ち帰って記入する場合もあると思うので、アンケートの期間を、貸出し期間と合せて2週間にする方がいいのではないかと。
- ・子ども読書活動推進計画にも「図書館見学」があがっていますが、幼稚園で図書館を見学に行って、書架等を見たりしてとても良い経験でした。できたら、市内の公立幼稚園にも積極的に図書館見学の機会を持ってほしい。

(委員)

- ・移動図書館車に関して、25箇所のステーションのうち、1回5人程度の利用者の所が5箇所あるが、今後、ステーションの見直し等はされるのか。
- ・開館時間延長試行について、利用者が増えているのはいいことだと思う。開館延長の項目も含めて、今年度の利用者アンケートが実施されましたが、調査結果の公表の方法等について教えてください。
- ・中央図書館が開館して30年経過し、蔵書数も増えて、一般開架室の窓側に椅子が置かれていて、スペースが狭く感じる。人口22万人の都市にふさわしい文化施設であってほしいと思う。

(事務局)

- ・1回あたりの移動図書館の利用者が5人程度のステーションについてですが、北部地域の西谷地区に4箇所設けており、利用者が少ない現状ですが、図書館からかなり距離のある地域であり、廃止することは難しいと考えています。
また、仁川北公園と逆瀬台6丁目の2箇所が、平成20年度の実績で、1回あたり5人程度の利用者ですが、全体の運行経路の問題等も含めて、今後どのような形がいいのか検討していきたい。

- ・昨年度の利用者アンケート結果については、図書館のホームページで公表しております。今年度のアンケート結果についても、集計等ができれば皆様にもお知らせし、図書館のホームページで公表する予定です。
- ・宝塚市の図書館が、人口22万人の都市にふさわしい文化施設であってほしいというご要望につきましては、我々も、そうあってほしいと思っておりますが、財政面の制約等もあり、困難な状況にあります。中央図書館は、駅前の図書館であり、家族全員で来れる所で、いわばファミリーレストラン的な要素があります。古い本を収納している閉架書架のスペースも満杯ですし、外に公園部分もありますが、スペース的に増築等は難しく、現在の施設での有効活用を考えざるを得ないのが現状です。なお、老朽化した書架については、来年度更新を行う予定です。

(委員)

- ・現在行なっている障害者サービスについて、教えてください。

(事務局)

- ・録音図書の充実、DAISY図書再生専用機の貸出しなどにより、視覚障害者や発達障害などで活字での読書が不自由な方に対して、サービスを行なっている。なお、録音図書や点字図書については、利用者へ無料で郵送を行なっている。
- ・平成22年1月からの著作権法改正により、録音図書作成に関する規制が緩和され、4月以降「ないぶネット」からDAISY図書をダウンロードし、利用者に提供することが可能になる。
- ・また、肢体不自由の方等で来館困難な方に対しては、郵送貸出しを行なっている。

(委員)

- ・リサイクル図書の優先配布について、小学校や地域児童育成会等へ案内されているが、特別支援学級への案内はどうなっているのか。また、教育総合センターの保育相談等の待合室には案内しているのか。

(事務局)

- ・優先配布の案内については、校園長会を通じて各学校園に連絡を行なっている。また、教育総合センターに関しては、教育支援課に連絡を行なっている。

(2) 第12回「宝塚市行財政改革推進委員会」(1/27開催)について(報告)

- ・「宝塚市行財政改革推進委員会」は、平成20年9月に、委員会設置要綱により設置され、委員数は12名(知識経験者等10名、公募委員2名)で、委員会の所管事項は、行財

政改革に関することとされています。

- ・「委員会の基本的な考え方、今後の委員会の進め方等」については、平成21年11月に、市長宛に提言書が提出されており、その中で、「施策・事務事業に対する検討の内容として、市が関与すべき領域のものであるかどうか、市が直接に実施すべきか、間接的に実施すべきか、間接的に実施すべきものである場合どのような形態が望ましいか」等が述べられていて、その議論の中で、指定管理者制度や民間委託の話が出されています。
- ・11ヶ所の施設が審議対象とされ、最初に図書館が取り上げられ、指定管理者制度の可否が審議内容となりました。図書館以外の審議対象としては、地域児童育成会（学童保育のことですが）、公民館、幼稚園、学校施設の統廃合、人権文化センター、自然休養村センター、教育総合センター、西山・長尾山霊園（市営霊園）、看護専門学校、学校給食があがっています。
- ・図書館への指定管理者制度の導入については、平成19年6月に図書館協議会から「時期尚早」との意見書〔参考資料（ア）〕をいただいております、我々の考え方も、「図書館サービスの安定性・継続性」の観点から、制度の導入については、「時期尚早」ということで、その考え方に変更はありません。
- ・その理由として、「人材（司書職員）の重要性」の観点から説明しました。
3年～5年で受注者が変わる指定管理者と比較した場合、図書館業務は、図書館法で規定されているように、「公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価も徴収してはならない。」ので、収益を生ずる事業として成り立たせるためには、人件費を抑制せざるを得ず、低賃金（いわゆるワーキングプア）では雇用が安定せず、優秀な人材が育成されにくいということです。
- ・また、図書館協議会からの意見書が提出されて以後の動きとして、3点を理由として追加し、説明を行いました。
- ・1点目が、2008年12月に「日本図書館協会」が見解をだしており〔参考資料（イ）〕、「公立図書館の管理運営形態は、それぞれの自治体及び図書館の状況に即して創造されるべきであり、多様であってよいと考えておりますが、指定管理者は適切でない。」としていることです。
- ・また、2点目が、2008年6月の通常国会での「社会教育法等の改正」の審議の質疑の中で、文部科学大臣が、「公立図書館への指定管理者制度の導入は、長期的視野に立った運営が難しくなり、図書館になじまない。職員の研修機会の確保や後継者の育成等が難しくなる、やっぱりなじまない。」と答弁していることです。
- ・さらに、3点目が、この論議を受けて、衆参両委員会で、「指定管理者制度導入の弊害についての附帯決議」がなされたことです。
- ・以上の3点も踏まえて、図書館協議会の意見書の「時期尚早」の考え方に変更はありません。
- ・委員からの主な質問としては、現行の図書館の経費の中で削減できる部分はどこか、現

行の直営形態の中でサービス向上できる部分はどこか、現行の人件費等についての質問がありました。

〔委員からの主な質問・意見等及び事務局からの説明〕

(委員)

- ・図書館協議会からの意見書では、行政が主体となって直営で図書館運営を行なう内容になっているが、意見書の中に市民ボランティアの活用は述べられているのか。

(事務局)

- ・意見書の指定管理者制度導入時の問題点の中で、「市民との協働」の項目があがっています。また、他市では、図書の修理等のボランティアの例があることは承知しています。実際どのような活用が可能か、今後検討していきたい。

(3) 平成22年度事業計画について

① 図書購入費の状況について（平成22年度事業計画（資料①参照））

- ・図書費の予算額の推移は、資料を見ていただきますと、平成15年度は対前年比較で、1,300万円の減額となり、中央・西両館で3,600万円になっています。
- ・その後、市の厳しい財政状況の影響を受け、平成17年度から平成20年度までの4年間で合計960万円の減額となり、平成20年度、両館合計で2,640万円となっています。
- ・平成21年度には、子ども読書活動推進計画の推進のため、両館で200万円の増額となり、両館合計2,840万円となっています。
- ・来年度（平成22年度）予算案では、両館で300万円の増額で、両館合計で3,140万円となり、平成17年度（3,150万円）とほぼ同額となっています。
- ・今後とも、図書費の充実について、財政当局の理解を得るよう努力していきたい。

② 各図書館の主な予算（内示分）内容について（平成22年度事業計画（資料②）参照）

(中央図書館)

- ・視聴覚室の閲覧用DVD購入費（消耗品費）50万円、児童室内のタイルカーペットの張替え（修繕料）約50万円を計上しています。
- ・備品購入費として、210万円余を計上していますが、主なものは、次の4点です。

(ア) ブックポストの購入

既設の公共施設を活用し、来年度、東公民館内にブックポストを設置し、長尾地区での返却ポイントを増やす。

(イ) 「宝塚市子どもの読書活動推進計画」に基づく、書架等の整備

図書館の入り口部分：絵本用書架（４台）の老朽更新

児童室：絵本用書架（２台）の老朽更新、

児童閲覧用テーブル及び椅子の老朽更新

(ウ) ブックトラック（８台）の購入

調査相談室前の廊下を利用し、ブックトラックを使った展示等により、開架部分としての蔵書数の増と、貸出し冊数の増を図る。

(エ) ブックトラック（２台）（カウンター用）の購入

インターネット予約により予約数が増大した結果、カウンター内で予約本を整理しておいておくブックトラックが必要となる。

- ・「ないーぶネット」会費（負担金）として、６万円計上しています。

全国視覚障害者情報施設協会が提供する「ないーぶネット」に加入することにより、直接録音図書をインターネットを通じてダウンロードし、録音図書を作成して利用者に提供することが可能になる。（中央図書館、西図書館の両方で使用ができる。）

（西図書館）

- ・ストーリーテリング養成（中級）講座

講師料（報償費）として、１３万２千円を計上しています。中級講座については、これまでボランティアグループが「子ども夢基金」から助成を受けて実施してきたが、来年度は「子どもゆめ基金」が廃止される予定なので、市が講師料を負担し、継続して実施する。

- ・備品購入費として、５０万円余を計上していますが、主なものは、次の２点です。

(ア) DAISY再生機器の購入（機器３台、ポケット用２台）

現在、中央図書館所蔵の機器を共通利用しているが、貸出し希望の利用者が増えて機材が不足しているので、西図書館においても購入する。

(イ) 児童用書架（２台）

可動式の木製トラックを、児童コーナーで書架として代用しているが、安定性を欠き危険であるので、固定式の書架を購入する。

③ 中山台分室の業務委託について

- ・昨年３月の図書館協議会で報告しましたが、「準備等に時間がかかること、コミュニティ内部の合意を得るのに時間がかかること等」の理由から、業務を受けるにあたって、

地元の「中山台コミュニティ」から時間がほしいという申し出があり、業務の受託について、1年間の延長をしたところです。

- ・今年度も、市のアウトソーシング計画に沿って、協議を継続した結果、現在の開室時間（月・木・土曜日が、午後1時45分～5時、日曜日が午前10時30分～午後4時〔ただし、昼の45分を除く〕）で、平成22年4月から、業務委託を行なう予定です。
- ・業務委託の相手方を地元のコミュニティとした理由は、中山台分室が中山台コミュニティセンターの建物の2階にあり、建物の管理運営について、現在、地元コミュニティが指定管理を受けていることと、地元のまちづくり計画（平成16年11月策定）の中で、分室についても、住民主体の管理運営の検討があげられていることです。
- ・なお、分室に関しては、「指定管理」ではなく、あくまで窓口業務等の「業務委託」を来年度行なうということです。

（4）その他

① 指定管理者制度についての事例の調査・研究について（神戸市の視察結果）

- ・神戸市では、指定管理者制度について、2008年度に3館に導入され、2009年度にさらに4館が追加導入されています。12月中旬に、神戸市立中央図書館へ導入後の状況を聞きに行きました。
- ・市職員に聞いたところでは、指定管理者の職員は、どうしても会社の利益を優先し、契約内容を自分たちに都合のいいように解釈しがちであり、自治体が目指している方向から外れないように、常に監視とコントロールが必要であると感じているとのことでした。
- ・実際に指定管理業者の話聞いて、感じた印象として、アルバイトの職員の入れ替わりが激しいのではないかと思った。

② 先進市（茨木市）の視察結果について

- ・一人当たり貸出し冊数（2007年度の数値）が、人口20万人台の市（39市）の中で、茨木市が14.9冊でトップで、本市の7.1冊（7番目）の約2倍となっており、本市よりも先進的な部分等について、11月下旬に視察しました。
- ・一人当たり貸出し冊数が高い理由としては、アクセスポイントの多さ（中央図書館のほかに、4分館、7分室、移動図書館〔(20ステーション)〕と、充実した資料費に負うところも大きい。また、レファレンスの資料も充実している。
- ・中央図書館は、市民による図書館づくり運動が原動力になって生まれた図書館である。

〔委員からの主な質問・意見等及び事務局からの説明〕

(委員)

- ・子どもたちのためのイベントは、お母さん、おばあさんも一緒に楽しめる。
大人が楽しめる、大人向けの活動で、朗読会や行事を考えてほしい。

(委員)

- ・神戸市の指定管理者制度の事例で、市の職員と業者から聞いた話の報告がありましたが、利用者がどう思っているのかのデータ（利用者アンケート等）も併せて報告すべきではないか。

(委員)

- ・神戸市の場合は、震災による財政難で、事業仕分け的な見直しの中で、さまざまな事業が取りやめになり、図書館の制度も変わったのだと認識している。
財政面のこともあり、制度変更の動機が通常ではないと思うので、神戸市の事例は参考にはならないのではないか。

(委員)

- ・図書館協議会の委員も、他市の事例等を見る機会があればと思う。

〔3〕 閉会あいさつ（社会教育部長）

5 閉会